

# 日本中東学会ニューズレター

**JAMES**  
NEWSLETTER



**No.169**  
2023/3/31

## 目 次

理事会報告.....	1
第 20 期（2023～2024 年度）役員選挙の結果.....	3
『日本中東学会年報（AJAMES）』編集委員会報告.....	3
日本中東学会第 39 回年次大会の参加申し込み方法と暫定プログラム.....	4
地域研究学会連絡協議会総会に関する報告.....	11
寄贈図書.....	11
会員の異動.....	12
事務局より.....	12

## 理事会報告

### 【2022 年度第 3 回（第 19 期）理事会】

日時：2023 年 2 月 9 日（木）18:00～20:00

オンライン開催

出席者：保坂修司、秋葉淳、大川真由子、粕谷元、勝沼聡、菊地達也、後藤絵美、佐藤健太郎、錦田愛子、森本一夫、堀抜功二

欠席者：青山弘之、岩崎えり奈、末近浩太、福田義昭、江川ひかり、横田貴之（いずれも保坂会長に委任）

[報告事項]

1. 第 39 回年次大会の準備状況について報告があった。
2. 第 40 回年次大会の準備状況について報告があった。
3. AJAMES 在庫および事務局資料の整理状況について報告があった。
4. 第 20 期評議員・理事選挙の結果について報告があった。
5. AJAMES 第 38-2 号および第 39-1 号の編集などについて報告と説明があった。
6. 日本学会奨励賞の選考について報告があった。

[審議事項]

1. 年次大会における重複発表の可否について、第 20 期理事会に継続審議を申し送り、第 40 回年次大会での報告募集開始までに方針を確定することを確認した。
2. AJAMES 第 39-1 号、第 39-2 号の編集方針などについて承認した。
3. 新規入会希望を承認した。

**【第 19 期・20 期合同理事会】**

日時：2023 年 2 月 9 日（木）18:00～20:00

オンライン開催

出席者：大川真由子、粕谷元、勝沼聡（以上第 19 期）、秋葉淳、保坂修司、森本一夫、菊地達也、後藤絵美、佐藤健太郎、錦田愛子、堀抜功二（以上第 19・20 期）、熊倉和歌子、山口昭彦、大塚修、嶺崎寛子、五十嵐大介（以上第 20 期）

欠席者：青山弘之、末近浩太、福田義昭、江川ひかり、横田貴之（以上第 19 期）、岩崎えり奈（第 19・20 期）（いずれも保坂会長に委任）

[担当業務説明および引き継ぎ]

1. 総務担当理事、広報担当理事、企画担当理事、年次大会担当理事、財務・会則担当理事、ニューズレター・書記担当理事、事務局の引き継ぎ文書が回付された。
2. 会長、および国際交流担当理事、渉外担当理事については引き継ぎ文書作成予定。
3. AJAMES 編集にかかる引き継ぎは編集委員会にて別途実施。

**【メール審議（2022 年 12 月 21 日～2023 年 3 月 31 日）】**

1. 2023 年 1 月 10 日 新規入会申し込みについて  
1 名から新規入会希望があり、メールでの稟議の結果、1 月 12 日にこれを承認した。
1. 2023 年 3 月 3 日 新規入会申し込みについて  
2 名から新規入会希望があり、メールでの稟議の結果、3 月 6 日にこれを承認した。

（青山弘之 ニューズレター・書記担当理事）

## 第 20 期（2023～2024 年度）役員選挙の結果

評議員選挙については、2022 年 12 月 22 日に開票の結果、学会細則 VIII-2 により、第 20 期の評議員は以下の 60 名で確定しました。有権者 390 名のうち、投票者数 166 名（うち有効票 166、無効票 0、白票 0）、投票率は 42.6%でした。

青柳かおる、青山弘之、赤堀雅幸、秋葉淳、飯塚正人、五十嵐大介、石黒大岳、岩崎えり奈、岩崎葉子、鶴戸聡、江川ひかり、大川真由子、大川玲子、大河原知樹、大塚修、大稔哲也、岡真理、小野仁美、帯谷知可、粕谷元、勝沼聡、菊地達也、熊倉和歌子、栗田禎子、黒木英充、後藤絵美、近藤信彰、酒井啓子、桜井啓子、佐々木紳、佐藤健太郎、白谷望、末近浩太、鈴木啓之、高尾賢一郎、鷹木恵子、竹村和朗、辻上奈美江、鶴見太郎、東長靖、長沢栄治、中町信孝、錦田愛子、林佳世子、藤波伸嘉、保坂修司、堀井聡江、堀井優、堀抜功二、松尾昌樹、三浦徹、嶺崎寛子、三代川寛子、村上薫、森本一夫、山尾大、山岸智子、山口昭彦、横田貴之、吉村武典（50 音順、敬称略）

評議員選挙に続き、新評議員による理事選挙が行われ、2023 年 1 月 11 日の開票の結果、以下の 15 名が選出されました。なお、理事選挙にあたり会則第 9 条の規定により 3 名の各評議員は理事選挙の被選挙権を有さないため、予め理事候補より除外されました。投票者数 49 名（うち有効票 49、無効票 0、白票 0）、投票率は 81.7%でした。

秋葉淳、五十嵐大介、岩崎えり奈、大川真由子、大塚修、菊地達也、熊倉和歌子、後藤絵美、佐藤健太郎、錦田愛子、保坂修司、堀抜功二、嶺崎寛子、森本一夫、山口昭彦（50 音順、敬称略）

（岩坂将充 選挙管理監事）

## 『日本中東学会年報（AJAMES）』編集委員会報告

- 38-2 号は 3 月末に刊行され、会員の皆様のお手元に届く予定です。
- 39-1 号は、7 月の刊行を目指して編集作業を鋭意進めております。
- 39-2 号の締切は 6 月 1 日です。論文、研究ノート、書評等さまざまなジャンルでの投稿をお待ちしております。とくに欧文での投稿を推奨、歓迎しております。また、英文など外国語での執筆による特集の企画がありましたら、ぜひご投稿ください。
- AJAMES では、会員による中東関連の博士論文要旨（英文）を掲載しています。とくに締切を設けておりませんので、最近博士論文を提出された会員の方は、随時ご投稿ください。また、お近くに中東関連で博士論文を提出された方がいらっしゃれば、ぜひ投稿を呼びかけてください。

- *AJAMES* への投稿規程と原稿執筆要領が改訂されました。詳しくは *AJAMES* 巻末および日本中東学会ウェブサイトをご確認ください。なお投稿申請票も近日中に改訂予定です。[http://www.james1985.org/modules/publications/index.php?content\\_id=3](http://www.james1985.org/modules/publications/index.php?content_id=3)
- 第9回日本中東学会奨励賞の受賞者をたぐいま選考中です。本奨励賞は「日本中東学会の若手会員の優れた研究成果の国際的な発信を奨励し、本学会の国際的な交流を促進することを目的とする」（奨励賞規定）もので、2年に一度、1名に授与されます。受賞者は2023年度（第39回）年次大会にて発表予定です。
- *AJAMES* のバックナンバーは、科学技術振興機構の電子ジャーナルの無料公開システム J-Stage 上で公開しています。刊行後、1年を経た論文はこちらで閲覧できますので、ご活用ください。<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ajames/-char/ja>

本誌に関するお問い合わせ先は編集委員長の交代に伴い、4月から変更になります。メールアドレスは変更ありませんので、こちらにご連絡ください。

『日本中東学会年報』編集委員会  
E-mail: [ajames-editor@james1985.org](mailto:ajames-editor@james1985.org)

(錦田愛子 *AJAMES* 編集委員長)

## 日本中東学会第39回年次大会の参加申し込み方法と暫定プログラム

日本中東学会第39回年次大会は、2023年5月13日（土）および14日（日）に開催されます。大会一日目に公開講演会、総会、懇親会を、二日目に研究発表（企画セッション含む）を行います。会場は、大会一日目はつくば国際会議場、二日目は筑波大学筑波キャンパス（春日エリア）となります。大会一日目の公開講演会および総会は、ハイフレックス方式（対面・オンライン併用）、二日目の個人研究発表と企画セッションは、対面方式を予定しています。なお、新型コロナの感染状況により、全面的にオンラインに移行する可能性もあり、また、懇親会も中止となる可能性もありますので、予めご了承願います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

### 1. 参加申し込みについて

日本中東学会第39回年次大会への参加につきまして、大会一日目の公開講演会にオンラインで参加するには、事前申し込みが必要です（公開講演会に対面で参加する場合は、事前申し込みの必要はありません）。また、公開講演会の参加費は無料です。他方、大会一日目の懇親会、大会二日目の個人研究発表・企画セッションに参加するには、事前申し込みが必要です。また、個人研究発表・企画セッションに参加するには、大会参加費の支払いが必要です。なお、懇親会や個人研究発表・企画セッションの参加に関し、当日の会場での参加申し込みや大会参加費等の支払いは、原則受け付けないことになっております。

大会の事前申し込みは、**4月28日(金)**を締め切りとさせていただきます。以下のフォームから、参加申し込みと大会参加費や懇親会費のお振込みをお願いいたします。大会参加費は**1,500円**、懇親会費は**6,000円**（学生会員**5,000円**）とさせていただきますので、以下の銀行口座にお振込み願います。

大会一日目：公開講演会（オンライン参加の場合）

※事前申込フォーム：<https://forms.gle/TN8cJrwJUKMmh7NN7>

大会二日目：懇親会、大会二日目：個人研究発表・企画セッション

※事前申込フォーム：<https://forms.gle/tiaGGN3BVEsd4mycA>

銀行口座：常陽銀行 研究学園都市支店（店番号 104）（普）口座番号 4046916

名義：日本中東学会第 39 回年次大会実行委員会

(ニホシユウガク`カクイ`イシヅ`ユウキョウカクイシヅ`タイイシヅ`ッコウインカイ)

なお、大会二日目の研究発表では、印刷した研究発表要旨集を会場で配布せず、大会用ポータルサイトにアップロードします。ご来校される皆様には、会場における無線 LAN への接続方法をご案内しますので、各自 PC をご持参くださるようお願いいたします。また、研究発表要旨集は、当日無線 LAN へアクセスして参照することも可能ですが、トラブル回避のためになるべく事前に大会ポータルサイトからダウンロードしておいていただけますと幸いです。

## 2. 託児所・託児サービスについて

大会一日目、二日目ともに、託児所の設置と託児サービスへの費用補助を予定しております。

- 大会当日に託児所の利用を希望される方は、**4月19日(水)**までに、大会実行委員会事務局まで必ずご連絡くださいますようお願いいたします。その際に、預けられる予定のお子様の性別・年齢をお知らせ願います。託児所の費用につきましては、託児所会計からの費用を充当する予定ですが、利用者の方に利用時間に応じて多少の費用負担をお願いいたします。
- 託児サービスへの費用補助につきましては、お子様一人につき一人あたり 5000 円を上限に費用を補助いたします。ご利用を希望される方は、**5月6日(土)**までに、以下のフォームから申し込みをお願いいたします。また、大会終了後 1 週間以内に利用の詳細と利用がわかるものを事務局メールにてご送付願います。

※託児費用補助申込フォーム：<https://forms.gle/rfGtczJc53Mgb2rcA>

## 3. 宿泊について

以下の URL に大会会場に隣接する宿泊施設の一覧がありますので、ご参考願います。

<https://www.epochal.or.jp/ja/フロアガイド/周辺ガイド/宿泊施設/>

#### 4. その他

大会二日目の昼食につきましては、学食が閉鎖されているため、TX つくば駅周辺の飲食店等とっていただくか、お弁当を持参されることをお勧めします。なお、二日目の会場からつくば駅までは徒歩約9分の距離です。以下、つくば駅周辺グルメマップをご参考願います。

※つくば駅周辺グルメマップ：<https://www.tsukucen.net/about/gourmetmap/>

#### 5. 日本中東学会第39回年次大会暫定プログラム（2023年3月22日現在）

日時：2023年5月13日（土）、14日（日）

5月13日（土）：公開講演会、総会、懇親会

5月14日（日）：個人研究発表・企画セッション

会場：

公開講演会・総会：つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園 2-20-3）

<https://www.epochal.or.jp/ja/>

※TX つくば駅から徒歩約8分

懇親会：ホテル日航つくば・本館 3F ジュピター

（茨城県つくば市吾妻 1 丁目 1364-1）

<https://www.nikko-tsukuba.com/banquet/jupiter/>

※TX つくば駅から徒歩約2分

個人研究発表・企画セッション：筑波大学（筑波キャンパス春日エリア）

（茨城県つくば市春日 1-2）

<https://www.slis.tsukuba.ac.jp/grad/access/access/>

※TX つくば駅から徒歩約9分

第一日目：2023年5月13日（土）

13:00-15:40 公開講演会（\*ハイフレックス方式：対面とZoomの併用）

16:00-17:00 日本中東学会総会（\*ハイフレックス方式：対面とZoomの併用）

（開催の案内につきましては、別途ご連絡いたします）

18:00-20:00 懇親会

#### 【公開講演会】

「不確実な時代における中東研究の可能性：化石燃料、食料資源、再生可能エネルギーの観点から」

第一次石油危機から50年を迎え、新型コロナ拡大やウクライナ危機による食料・エネルギー価格高騰等が起こる中、SDGs（持続可能な開発目標）達成や人々のwell-being向上を図ることは重要な課題となっている。中東地域は、エネルギー安全保障の観点

から日本にとって重要なパートナーであるとともに、石油や天然ガス等の化石燃料、食薬資源、太陽光や水素を含む様々な資源の宝庫であり、今後の新たな発展の可能性を秘めている。また、現在世界が直面している気候変動は、中東と日本の関係や今後の協力の在り方に大きな変化をもたらしている。本公開講演会では、中東と日本の過去と現在、そしてポストコロナを含む今後 50 年を見据え、化石燃料、食薬資源、再生可能エネルギーの観点から、不確実な時代の中でも、中東地域にはどんな魅力やポテンシャルがあるのか、持続可能な社会に向けて日本と中東はどのような課題を共有し、どのような協力が可能か、また、今後どのような中東研究が求められているのか等を議論する。これにより、中東地域の理解を深めるとともに、中東研究に新たな視座を拓くことを目的としたい。

全体司会：(松尾昌樹／大会実行委員)

開会挨拶：柏木健一 (筑波大学／大会実行委員長)

講演者：近藤重人 (日本エネルギー経済研究所)

「中東・日本関係の過去と将来：エネルギー安全保障と気候変動の視点から」

講演者：礪田博子 (筑波大学)

「北アフリカ食薬成分機能性解析の文理融合研究による新展開」

講演者：岡島敬一 (筑波大学)

「再生可能エネルギー由来水素製造とサプライチェーン：中東への期待」

質疑応答・全体討論

討論者：塩尻和子 (アラブ調査室)

討論者：長沢栄治 (東京大学)

主催：日本中東学会

共催：筑波大学地中海・北アフリカ研究センター

第二日目：2023年5月14日(日)

12:20-13:50 企画セッション (\*対面方式)

9:30-12:10/14:00-16:40 個人研究発表 (\*対面方式)

\*氏名の右側の ( ) 内は所属、Jは大学院生を示す。

### 【企画セッション】

12:20-13:50 (場所：情報メディアユニオン 101-1)

「ポスト 2003 イラクにおけるアート、ワタン／ホームランド、抵抗」

司会：岡真理 (早稲田大学)

発表者：

相澤恭行 (文化芸術団体 ChalChal) 「アートの視点から：ワタンの再創造へ」

岡真理 (早稲田大学) 「文学の視点から」

酒井啓子 (千葉大学) 「路上の抵抗から」

コメンテーター：未定

### 【個人研究発表】

#### 第一部会（場所：7A101）

- 1-1) 09:30-10:10 秋葉淳（東京大学）「オスマン帝国シャリーア法廷の役割の再検討：1840年代の法廷収入簿より」
- 1-2) 10:10-10:50 篠田知暁（東京外国語大学）「この世で最も不幸な人々：16世紀モロッコの改宗者たち」
- 1-3) 10:50-11:30 伊藤匠平（東京大学 J）「サロニカ社会主義労働者連盟の活動からみるオスマン末期の社会主義者と労働者」
- 1-4) 11:30-12:10 早矢仕悠太（東京大学 J）「中世マーリク派法学における相隣権概念の再検討」
- 1-5) 14:00-14:40 大河原知樹（東北大学）「家族の歴史を復元する：ダマスカスの事例」
- 1-6) 14:40-15:20 松原康介（筑波大学）「古代都市の再構築：ダマスクス 1968年マスタープランの研究」
- 1-7) 15:20-16:00 中鉢夏輝（京都大学 J）「インドネシアにおけるエコ・モスクの成立背景：水・環境倫理・イスラーム法の観点から」
- 1-8) 16:00-16:40 Aqil Cheddadi (Keio University) “Defending the Right to the City: Community Activism and Resistance of Moroccan Bidonville Dwellers to Forced Relocation”

#### 第二部会（場所：7A102）

- 2-1) 09:30-10:10 大坪玲子（東京外国語大学）「韓国で働くイエメン難民」
- 2-2) 10:10-10:50 望月葵（日本学術振興会特別研究員）「シリア難民危機をめぐる受入国の論理：人道主義と安全保障の観点から」
- 2-3) 10:50-11:30 鈴木慶孝（日本学術振興会特別研究員）「トルコのシティズンシップ—移民・難民・マイノリティの包摂を焦点として」
- 2-4) 11:30-12:10 クレシ・サラ好美（慶應義塾大学 J）「日本に暮らすムスリム第二世代：学校教育現場における実態の検証」
- 2-5) 14:00-14:40 小島宏（早稲田大学）「コロナ禍の英国におけるムスリム若者におけるインターネット利用と宗教関連行動」
- 2-6) 14:40-15:20 ハシャン・アンマール（立命館大学）「現代ワクフ（寄進財産）研究とイスラーム・フィンテックの新段階へ向けて：課題と展望」
- 2-7) 15:20-16:00 桐原翠（立命館アジア・日本研究機構）「国際的なハラール産業の拡大の新動向：マレーシアのイスラーム経済政策との相関から」
- 2-8) 16:00-16:40 佐藤馨大（秋田大学 J）「イランにおける新型コロナウイルスの感染状況と大気汚染の関係」



### 第三部会 (場所：7A103)

- 3-1) 09:30-10:10 岡崎弘樹 (亜細亜大学) 「シリア・ムスリム同胞団員のパルミラ監獄手記を読む」
- 3-2) 10:10-10:50 浪内紫雲 (東京外国語大学 J) 「シリアにおける市民社会と政権との関係：シリア開発信託を事例として」
- 3-3) 10:50-11:30 山岡陽輝 (慶應義塾大学 J) 「現代におけるイスラーム国家の構想：解放党の『カリフ制国家』構想を事例として」
- 3-4) 14:00-14:40 吉田智聡 (防衛省防衛研究所) 「反乱軍から擬似的国家治安機関への道程：フーシー派の国民軍プロパガンダに関する一考察」
- 3-5) 14:40-15:20 岡野内正 (法政大学) 「男を殺せ！：アブドゥッラー・オジャランの武装ジェンダー革命論」
- 3-6) 15:20-16:00 Mostafa Khalili (Kyoto University) “The Protest Movement in Iran from the Lens of Peripheries: The Perception of the “Woman, Life, Freedom” Movement Among Ethnic Minorities”

### 第四部会 (場所：7A208)

- 4-1) 09:30-10:10 山本健介 (静岡県立大学) 「コロナ禍初期の東エルサレム：『生の序列化』とパレスチナ人の危機対応」
- 4-2) 10:10-10:50 江崎智絵 (防衛大学校) 「ガザ指導部を中心とするハマースの対外政策：ハニーヤ政治局長の1期目 (2017～2021年) を事例として」
- 4-3) 10:50-11:30 今野泰三 (中京大学) 「ベドウィンが生きた帝国と植民地主義：パレスチナ北部のバイサーン地方を中心に」
- 4-4) 11:30-12:10 原田有一朗 (早稲田大学 J) 「最も優れた陽動手段は何か？イスラエルでのサーベイ実験データより」
- 4-5) 14:00-14:40 岡部友樹 (大阪経済法科大学) 「レバノン内戦における宗派と暴力：集団内暴力と集団間での紛争に着目して」
- 4-6) 14:40-15:20 児玉恵美 (東京外国語大学 J) 「レバノン内戦期における強制移動：レバノン人キリスト教徒の故郷をめぐる記憶から」
- 4-7) 15:20-16:00 李乗漢 (神戸大学 J) 「イスラエルにおける核兵器開発及び保有政策の不透明性：ディモナ原子炉をめぐる 1960年代の国内政治過程とソ連の軍事的脅威」
- 4-8) 16:00-16:40 中村友紀 (筑波大学 J) 「占領影響下のヨルダン川西岸地区における農業普及がパレスチナ人農家の技術の採用に及ぼす効果の定量的分析」

### 第五部会 (場所：7A209)

- 5-1) 09:30-10:10 近藤文哉 (上智大学) 「現代エジプトの預言者・聖者生誕祭における国家の管理・統制および市民の祝祭経験に関する一考察」
- 5-2) 10:10-10:50 山口匠 (東洋大学) 「現代モロッコにおける権威主義体制の動態：パンデミック後のマフザン体制を問う」

- 5-3) 10:50-11:30 村上拓哉 (中東戦略研究所)「王朝君主制の終焉? : 湾岸諸国における君主・皇太子への権力集中の趨勢」
- 5-4) 11:30-12:10 米田優作 (立命館大学 J)「現代エジプト権威主義体制下におけるサラフィー主義者の政治姿勢 : スール党関係者の著作分析から」
- 5-5) 14:00-14:40 白谷望 (愛知県立大学)「2021年モロッコ国民議会選挙におけるイスラーム主義政党の惨敗と王党派政党の躍進」
- 5-6) 14:40-15:20 青木健太 (中東調査会)「イランの対外政策と非国家主体 : アフガニスタン人の動員を事例に」
- 5-7) 15:20-16:00 中村覚 (神戸大学)「ムハンマド・ビン・アブドゥルワッハブはなぜムスリムと戦ったのか」

#### **第六部会 (場所 : 7A105)**

- 6-1) 09:30-10:10 竹田敏之 (立命館大学)「アラビア語研究の新分野としての文法源流 (Usul al-Nahw)」
- 6-2) 10:10-10:50 榮谷温子 (慶應義塾大学)「総称指示との関係から見たアラビア語の『一般化 (タアミーム)』」
- 6-3) 10:50-11:30 村上武則 (東京外国語大学)「クルド語翻訳と古典の『クルド化』」
- 6-4) 14:00-14:40 濱田聖子 (東京大学)「ジャーヒズ作品における『真面目さと冗談』の手法」
- 6-5) 14:40-15:20 ウェルズ桜 (立命館大学 J)「リファーア・タフターウィーによる文化間対話の試みと意図 : 『パリ要約のための黄金の精錬』を中心に」

#### **第七部会 (場所 : 7A104)**

- 7-1) 09:30-10:10 黒田賢治 (国立民族学博物館)「1907年マッカの旅? : 中島裁之の世界旅行と国際親善」
- 7-2) 10:10-10:50 へバタッター・オマル (名古屋大学)「エジプトと日本のお互いのジェンダー表象」
- 7-3) 10:50-11:30 Nicholas Mangialardi (Williams College) “Japan in Egyptian Popular Culture”
- 7-4) 11:30-12:10 Alaa Elsharqawy (Cairo University J) “Japan and Suez Crisis”

#### **6. 大会についての連絡先**

日本中東学会第39回年次大会実行委員会事務局

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学地中海・北アフリカ研究センター

電話 : 029-853-3992、080-3393-4470 ファクス : 029-853-5776

E-mail : james2023tsukuba[at]gmail.com ([at]は@に読み直してください)

(第39回年次大会実行委員会)

## 地域研究会連絡協議会総会に関する報告

2022年12月24日(土)、地域研究会連絡協議会(JCASA)の2022年度年次総会がオンラインにて行われた。まずは事業報告と会計報告について小森事務局長より説明があり、審議の結果承認された。続いて、2020年度から総会がオンライン開催になっていることに伴い事務局運営上の支出がほとんどないことから、2023年度と2024年度も分担金の徴収停止を継続することが事務局より提案され、審議の結果承認された。報告事項としては、地域研究コンソーシアム(JCAS)の岡田運営委員長より、JCASの活動の中でも、特に(1)年次集会、(2)JCAS賞、(3)JCAS「地域の総合知」シンポジウムについて報告があった。加盟学会担当者からは、(2)のJCAS賞について、JCASA内で情報共有する点について質問があり、今後、可能な範囲で検討することになった。また、JCASによる広報協力について、JCASホームページ上でイベント告知の登録ができることなどが紹介された。また、小長谷委員長が総会を欠席したため、日本学術会議地域研究委員会からの報告は総会当日にはおこなわれなかったが、事後に小長谷委員長から事務局に送付された内容が議事録に掲載された。その中では自民党PTにおける日本学術会議に関する法改正の動きについて報告があり、法改正の内容がより明確になった段階で、JCASAに声がけしたいとのことであった。

(菊地達也 渉外担当理事)

## 寄贈図書

### 【単行本】

- 鈴木堯『オスマン帝国の世界秩序と外交』名古屋大学出版会、2023年  
森本一夫・井上貴恵・小野純一・澤井真(編)『イスラームの内と外から：鎌田繁先生古稀記念論文集』ナカニシヤ出版、2023年  
A. Mete Tuncoku, *Türkiye'de Japon Dili Eğitimi ve Japonya Çalışmalarının 50 Yılı* [トルコ共和国における日本語教育と日本研究の50年], Ankara: Türk Japon Üniversiteler Derneği, 2022.  
Katakura Kunio and Katakura Motoko, *As We Two Have Experienced and Reviewed It: Japan and the Middle East/the Islamic World*, Kyoto: Shoukadoh, 2022.

### 【逐次刊行物・ジャーナル・その他】

- 『季刊アラブ』No.182、日本アラブ協会、2023年1月  
『sadaqah』No.243、日本サウディアラビア協会、2022年9月  
『Danah』No.244、日本クウェイト協会、2023年2月

(堀抜功二 事務局長)

## 会員の異動

### 【新入会員】

中鉢 夏輝	京都大学大学院
ウェルズ 桜	慶応義塾大学
相澤 恭行	文化交流団体 ChalChal (チャルチャル)
長田 こずえ	名古屋学院大学
藤本 あずさ	京都大学大学院

### 【連絡先不明者】

下記の会員の方々は、連絡先が不明なため、学会からのお知らせなどをお届けすることができないでおります。連絡先をご存じの方は、学会事務局までご連絡いただけますよう、ご面倒でもご本人にお伝えいただければ幸いです。

北川 明	築地 孝治	苗村 卓哉	モハメド オマル アブディン
横田 吉昭	西館 康平	後藤 信介	ファトヒー モハンマド
矢倉 美砂子	西川 優花	林田 花枝	Mohamad Haidar Reda
住吉 大樹	ターリク フセイン	ハカミー	Abhu-Hajjar Iyas Salim
Abuhajir Rehab A			

(堀抜功二 事務局長)

## 事務局より

現事務局のある勝どきでは、春の雨の下で桜が満開を迎えようとしています。お陰様で、二年間の事務局長の任期を無事に終えることができそうです。この間、理事会や監事、会員の皆さま、前事務局の安田慎さんと須永恵美子さんからは多くのご支援を賜りました。事務局業務については、会員で同僚でもある渡邊駿さんに副事務局長として支えて頂き、また事務局を置く（一財）日本エネルギー経済研究所中東研究センターの同僚からも支援を受けました。すべての方のお名前を挙げられませんが、業務委託をしている国際文献社様をはじめ、多くの方の支えによって円滑な学会運営が行われたと考えております。ここに記すとともに、改めて御礼を申し上げます。

現事務局では、長年の懸案事項のいくつかを解決することができましたが、先送りになってしまった問題や、新しく取り組むべき課題も確認されました。次期事務局にバトンを渡しますが、会員の皆さまからは引き続きご支援を賜ることができれば幸甚に存じます。

(堀抜功二 事務局長)

日本中東学会ニューズレター 第169号

発行日 2023年3月31日

発行所 日本中東学会事務局

日本中東学会事務局

〒104-0054

東京都中央区勝どき 1-13-1 イヌイビル・カ  
チドキ 10階

(一財)日本エネルギー経済研究所 中東研  
究センター内

E-mail: [james@james1985.org](mailto:james@james1985.org)

<http://www.james1985.org/>

郵便振替口座：00140-0-161096(日本中東学会)

ゆうちょ銀行口座：〇一九店(当)0161096

(ニホンチュウトウガクカイ)